

PROGRAM

- F. シューベルト : 野薔薇 D.256
 ガニュメート D.544
 春の信仰 D.686
- J. ブラームス : まどろみはいよいよ浅く OP.105-2
 われら、さすらった OP.96-2
 日は、山の上に～セレナーデ OP.106-1
- R. シューマン : リーダークライスより
 第2曲 インテルメッツォ
 第5曲 月の夜
 第12曲 春の夜

- F. ヴォルフ : 隠棲 (メーリケ歌曲集 第29曲)
 私の髪のかげで (スペイン歌曲集 第2曲)
 アナクレオンの墓 (ゲーテ歌曲集 第29曲)
 祈り (メーリケ歌曲集 第30曲)
- G. マーラー : リュッケルトの詩による5つの歌曲
 私の歌を覗き見しないで
 私はほのかな香りを吸い込む
 私はこの世から姿を消した
 真夜中に
 美しさゆえに愛するのなら

四季のコンサート 秋

1995年9月7日(木) 6:45 PM
 浜松市教育文化会館
 主催:浜松音楽友の会

最も注目を集めている。
 若林 顕は、現在日本が誇る若い世代の男性ピアニストとして、共演している。
 室内楽にも意欲的で、クラリネットのカーン・ライスターとも度々全国各地でのリサイタル、国内の主要オーケストラとの協演の他、1994年 春 ベルリン芸術大学大学院修了。
 高く評価され、第3回光音楽賞を受賞。
 イタルでの演奏が「演奏技術、表現などに進境著しい」と
 1992年 東京・サントリキーホールにてリサイタルを行う。このリサイタルで、モーツァルトのモーツァルトを優秀な成績で卒業。
 1990年 東京・サントリキーホールにてリサイタルを行う。このリサイタルで、モーツァルトのモーツァルトを優秀な成績で卒業。
 1987年 ヘルシンキのフィンランドで行われた「エリザベト王妃国際ピアノコンクール」第2位入賞。
 1985年 イタリアのベルガモで行われた「第37回ソノ・エ国際ピアノコンクール」第2位入賞。
 1984年 東京芸術大学音楽学部に入学。同年、オーストリアのザルツブルグ・モーツァルトアカデミーに留学、ハンス・ライプツィヒの指導を受ける。
 1982年 第51回日本音楽コンクールピアノ部門第2位入賞。

若林 顕 (わかばやし あきら)

日本を代表するソプラノのひとりである。
 ク・ソプラノとして多彩な活動を続ける豊田喜代美は、名実ともに、深いある暖かく透明な声質と、知的な表現力を併せ持ったリサイタルのCDが発売された。
 7月21日、第2回エッセンス・コンサートより「無伴奏による日のプロ」常に新たな挑戦を続けている。
 3月22日サントリキーホールにて開催決定。(アラー、シエラ、シエラ) 1990年より始められたリサイタル・シリーズの第5回目が、来年度に於いて、成功を収めている事は観客に於いては、特にノーブルな作品など今までに数多くの日本初演のソリストに、その知覚で清冽なる表現力が高く評価されている。
 近代現代作品にいたるまで数多くの公演にソリストとして招かれ、その分野でも輝かしいキャリアを築いているが、古典作品のみならず、ハンバ、ハンバ、モーツァルトなどの宗教曲を根幹に、コンサート以上のオペラの主役を演じている。
 回サントリキー音楽賞を受賞。以後数々の公演に参加、現在までに20回「小澤征爾指揮、鈴木敬介演出」で好評を博し、1984年度第16回サントリキー音楽賞を受賞。1984年度第16回「ホフマン物語」1983年度第11回「オペラ」賞受賞。1984年度第16回「ホフマン物語」桐朋学園大学卒業。ドイツのケルン国立音楽大学留学。

豊田喜代美 (とよだ きよみ)



豊田喜代美ソプラノリサイタル

ピアノ 若林 顕

シューベルト (1797~1828)

オーストリア出身の初期ロマン派の作曲家。短い生涯の間に600曲以上のドイツ・リートを書いた。＜野薔薇＞1815年作曲。世界中で親しまれているやさしく愛らしい名曲。＜ガニュメート＞1817年作曲。ガニュメートとはギリシャ神話に出てくる美少年のことで、荘厳さをたたえたスケールの大きな歌。＜春の信仰＞1820年作曲。春の訪れに対する喜びを歌った明るい民謡風の歌。

ブラームス (1833~1897)

ドイツ出身の後期ロマン派の作曲家。特に器楽曲において憂愁を帯びた重厚な傑作を数多く残したが、ドイツ・リートの分野でも重要な足跡を残した。＜まどろみはいよいよ浅く＞1886年作曲。OP.105の5つの歌曲の第2曲。死を予感した乙女が恋人のことを思って歌う。＜われら、さすらった＞1884年作曲。OP.96の4つの歌曲の第2曲。恋する二人が幸せに包まれてさまよい歩いた頃の情感を穏やかに歌ったもの。＜月は山の上に＞1886年作曲。OP.106の5つの歌曲の第1曲。3人の学生がフルート、ヴァイオリン、チターを奏でながら歌う明るいセレナード。

シューマン (1810~1856)

ドイツ出身のロマン派の作曲家。独特の和声法を駆使して、情緒豊かな音楽を生み出した。歌曲やピアノ小品に傑作が多い。「リーダークライス OP.39」は、1840年に作曲された12曲から成るシューマンの代表的な歌曲集のひとつ。今夕はその中から次の3曲が歌われる。第2曲＜インテルメッツォ＞恋する者のやさしい思いにあふれた歌。第5曲＜月の夜＞ひそやかな夜の情景を表現している。第12曲＜春の夜＞恋の喜びにふるえる心のときめきを歌っている。

ヴォルフ (1860~1903)

オーストリア出身。ロマン派ドイツ・リートの最後の頂点を築いた作曲家で、作品はほとんどが歌曲。その特徴は、朗唱風の歌、独特なピアノの伴奏、ワーグナー風の崩壊寸前の機能と声にある。＜隠棲＞1888年作曲。53曲から成るメーリケ歌曲集の第12曲。世捨て人の歌。＜私の髪のかげで＞1889年~1890年作曲。44曲から成るスペイン歌曲集の第12曲。かたわらで眠っている彼のことを思いながら歌う。＜アナクレオンの墓＞1888年~1889年作曲。51曲から成るゲーテ歌曲集の第29曲。ギリシャの詩人アナクレオンの墓の前に立った時の心境を歌う。＜祈り＞上記のメーリケ歌曲集の第28曲。愛も苦しみもすべて神のみ手にゆだねた祈りの歌。

マーラー (1860~1911)

オーストリア出身のユダヤ人。ロマン派交響曲の最後を飾った作曲家であるが、管弦楽の伴奏によるドイツ・リートにも現代人の心に強く訴える作品を残した。「リュッケルトの詩による5つの歌曲」1902年頃作曲。第1曲＜私の歌を覗き見しないで＞恋人への愛を歌った民謡風の素朴な作品。第2曲＜私はほのかな香りを吸い込む＞恋人のくれた花をたたえる愛らしいリート。第3曲＜私はこの世から姿を消した＞深い情感に満ちた夢見るような歌。第4曲＜真夜中に＞不安な気持ちを表す前半と確信に満ちた後半に分かれる。第5曲＜美しさゆえに愛するのなら＞美しいからではなく若いからでもなく、愛するがために私を愛して下さいと歌う。